



今年は24人の生徒が小学校を卒業しました。卒業証書を受けとった卒業生は、学校の先生や友達、家族への感謝の言葉や小学校生活の中での思い出やこれからの思いなどを発表しました。一人ひとりきはきはきと述べ、これからの中学校生活への力強い思いを感じました。



今年で第13回目となる幼児センター卒園式では、23人の園児達が卒園しました。園児一人ひとり卒業証書が手渡された後、これからの学校生活への期待も込めて、将来の夢を述べました。「思い出のアルバム」では、今までの幼児センターでの思い出を振り返りました。



森の寺子屋体験会

3月6日 コモレビ



今年度行われた「森の寺子屋」の来年度に向けた体験会が行われました。森の寺子屋では何か「やりたいこと」を持っている人が集まり、自分のやりたいことを発表し、参加者同士でアドバイスや協力し合いながらその実現へと進んでいく場として作年度から始まりました。体験会では約30人集まるなか、代表として2人の人にこれからやりたいことについて発表してもらい、参加者同士で話し合いました。4グループに分け意見を出し合い、中には約10分間で50を超えるアイデアがだされるほど活発な議論が行われました。

五味温泉入浴体験

2月22日 五味温泉



年長組の園児が五味温泉の入浴体験を行いました。園児のみんなで1列になり、お互いの背中をごしごしと磨き合い、体を洗い流しました。温泉に入ったときは笑顔いっぱいとても気持ちよさそうに温泉を楽しみ、卒業目の大切な思い出になりました。



「仲間との思い出を胸に」  
卒園式・卒業式



今年は32人の生徒が卒業しました。中学校の仲間たちは幼児のころから同じ環境で育ってきた仲間が多く、これからの人生はそれぞれが別々の道を進むことになり、多くの卒業生は仲間たちへの別れの悲しみから涙を流していました。合唱の際には、仲間との別れの想いやこれからの人生への期待を胸に大きな声で歌いました。



今年は24人の生徒が卒業しました。社会人への準備期間でもある高校生活での勉強や部活動を通し、心、身体ともに成長し、卒業生一人ひとりにとてもたくましさを感じました。3年間共に過ごしてきた仲間との別れを悲しみ、これからは社会人として働く人、進学する人それぞれの道を進みます。

サンルダム竣工式・竣工祝賀会

3月17日 公民館大ホール・バスターミナル

サンルダムの完成を祝し、竣工式・竣工祝賀会が行われ、国会議員や道議会議員、流域首長など約300人の参加者が集まりました。1990年代の事業着手から約30年をかけ完成させ、流域全体の洪水調整や生活用水の確保だけでなく、各産業の振興や観光資源としての地域活性化が期待されます。竣工式では、関係者や下川小、中学校の代表生徒も集まりくす玉を開け、ダムの完成を皆でお祝いました。

